

令和5年度京都府母子寡婦福祉大会及び全体研修会開催要綱

～つなごう人の輪、守ろう地域の輪～

母子に関するテーマ「目指そう自立 活かそう支援策」

母子・寡婦共通テーマ 「母子と寡婦 共に育む子どもの未来」

1 趣 旨

現在、急速な少子・高齢化のうねりの中にあって、子どもの貧困の解消のため育成、支援が社会全体の大きな課題となっています。

また、景気は緩やかに回復しているといわれるものの、私たち母子家庭や寡婦にとってその実感は乏しいばかりか、不安定な非正規雇用と低収入は依然として改善されず、消費税の引き上げや諸物価の上昇など生活環境は、ますます厳しい現状です。

とりわけ、新型コロナウイルス感染症による影響や諸物価の高騰は、非正規雇用の比率が多いひとり親家庭に大きな影響をもたらし、困窮する母子家庭の増加や子どもの貧困をさらに招きました。

加えて寡婦については、高齢化が進み健康不安や介護の問題などが課題となっています。

一方で、児童扶養手当と障害年金の併給調整の見直し、未婚のひとり親へのみなし寡婦控除の拡大、また高等教育の無償化、未婚のひとり親への寡婦（寡夫）控除の適用など明るいニュースも出てきています。

このような中、私達は、なお一層仲間とともに自立支援の施策を活用して正規雇用を目指すとともに、日常生活支援事業や子どもの居場所づくり事業などにより、子ども達の健やかな成長を育むとともに、母子・寡婦の生活の安定と福祉の向上を実現すべく努めなければなりません。

また、今後、行政や関係機関等と一緒に緊密な連携のもとに、地域に根差した活動の和を育み、自立への道を歩む努力を続けなければなりません。

私たち一人ひとりが持てる力を充分に發揮することを誓うとともに、今後の母子寡婦福祉の推進と充実を目指した取り組みに繋がることを願い、この大会を開催します。

2 期 日 令和5年10月22日（日） 13：00～16：00

3 会 場 京都テルサ

京都市南区東九条下殿田町70 京都府民総合交流プラザ内

TEL. (075) 692-3400

4 参加者 京都府母子寡婦福祉連合会会員 その他 （約300名）

5 日 程 受 付 12：00～
開 会 13：00
閉 会 16：00

【大会の部】

- 主 催 社会福祉法人 京都府母子寡婦福祉連合会
- 後 援 京都府
社会福祉法人 京都府社会福祉協議会
公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団
京都府民生児童委員協議会
- 次 第
- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 開会のことば | |
| 黙 桀 | 『母に幸あれ』 |
| 齊 唱 | |
| 主 催 者 挨 捶 | (福)京都府母子寡婦福祉連合会会长 佐竹 幸子 |
| 来 賓 祝 辞 | 京都府知事 西脇 隆俊 氏 |
| (予 定) | 京都府議會議長 石田 宗久 氏 |
| 来 賓 紹 介 | (財)全国母子寡婦福祉団体協議会理事長 藤田 君子 氏 |
| 祝 電 披 露 | |
| 体 験 発 表 | 子ども代表 谷口 愛莉さん(城陽市母子寡婦福祉連合会) |
| | 母親代表 森本 真理子さん(舞鶴市母子福祉会) |
| | 寡婦代表 勝田 恵美子さん(南丹市母子寡婦福祉会) |
| 大 会 決 議 | 平田 栄美子氏(南丹市母子寡婦福祉会) |
| 大 会 申 合 せ | 奥村 まどか氏(木津川市母子会) |

【全体研修会の部】

- 講 演 演題: 「第1回おやこ de アート in 京セラギャラリー記念講演」
講師: 京都教育大学 名誉教授 村田利裕氏

【アトラクション】

- 音楽演奏 いろは組 with 灯馬&ぽんちゃん
- | | |
|--------|--------------|
| 齊 唱 | 『生き抜く白百合』 |
| 開会のことば | 『今日の日はさようなら』 |

【閉 会】